

中小企業あきた

年頭所感 1

新春特別企画～本会創立60周年記念・第67回中小企業団体全国大会
優良組合表彰受賞の組合理事長に聞きました～

「今後の抱負と今年の個人目標」 5

1 佐竹秋田県知事との懇談会を開催 8

○景況レポート 11 月分 10

○話題の広場

中央会事業より 19

アラカルト 21

新設組合紹介 21

1
JANUARY.2016



題：「日溜りでの出会い(ダリアと蜜蜂、カエル)」 撮影：桑原 功氏(本会副会長・協同組合秋田卸センター理事長)

官公需適格組合
『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男
副理事長 山岡緑三郎
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685



トワニー秋田

通商産業大臣認可50産第1784号
全日本葬祭業協同組合連合会加盟
秋田県葬祭業協同組合
〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3
TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531
ホームページ <http://www.towany.com>

葬祭・仏壇・仏具のご用命は
組合加盟店へどうぞ

謹んで新年のお慶びを申し上げます

秋田流通サービス事業協同組合

(株)羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
(有)川津商事	千歳運送(有)	(有)丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	姉崎商運(株)	(株)仙建
豊幸商事運送(有)	大曲小型貨物自動車運送(株)	十文字運送(株)
(有)藤原運送	ヨコウン(株)	川運運送(株)
角間川運送(株)	田沢湖運送(株)	(株)美郷運輸
エコー運輸(株)	湯沢運送(株)	(株)木村工務店
(株)岡部興業	(有)北國急行	

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299

本年もよろしくお願ひ申し上げます。
相続・事業承継のご質問・ご相談を
お気軽にどうぞ!!

保険&リース
 **株式会社 北日本ベストサポート**

〒010-0967
秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888
FAX.018-883-1822
URL <http://www.knbs.jp>

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる...

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-8600



30
Anniversary

秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

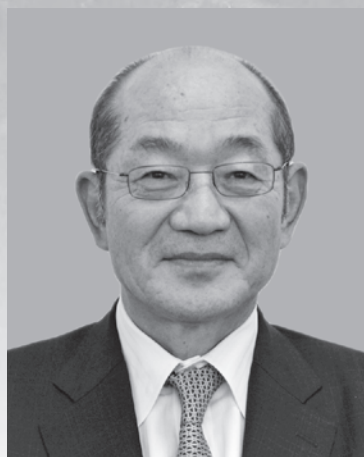
 **ホテルメトロポリタン秋田**

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤 正義



新年あけましておめでとうございます。平成28年の年頭にあたり、会員組合及び組合員企業の皆様にご挨拶を申し上げます。

また、日頃より本会の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年、本会は創立60周年の節目を迎え、11月には創立記念式典並びに祝賀パーティを開催致しましたところ、多数のご臨席をいただき盛会裡に終了することができました。これもひとえに皆様のご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

さて、平成27年の我が国を振り返りますと、15年ぶりに日経平均株価が2万円台の高値を記録、有効求人倍率がバブル期以来の高水準となったことに加え、大手食料品メーカーや外食チェーン等が相次いで値上げを表明するなど、景気回復とデフレ脱却が地方に本格的に波及することが期待されましたが、その後は足踏み状態に戻るなど、一喜一憂の1年でありました。

一方、本会が昨年実施した中小企業労働事情実態調査の結果によれば、6割以上の中小企業が労働力不足・人材不足を訴えており、厳しい時代を生き抜くための経営革新や新分野進出に向けた優秀な人材の確保が難しくなっていることが明らかになってきております。

このような状況の中、新たな年を迎え、本会では活動指針として掲げております「強い組合・強い企業づくり」を実現するため、会員組合や組合員企業の皆様への巡回訪問を強化するとともに、迅速な課題解決に向けた専門家派遣や新設組合に対する集中支援、さらには地域資源の有効活用による地域経済活性化を目指した企業連携に対する支援などを行うこととしています。

昨年10月には、秋田県において「あきた未来総合戦略」が策定され、「産業振興による仕事づくり」など4つの基本目標が明示され、人口減少の克服や持続可能な秋田の創生に向けた取り組みが始まっており、経済団体の一翼を担う本会としても、持てる力を十分に発揮してまいります。また、引き続き「ものづくり補助金」の秋田県地域事務局として、企業の新製品・新サービスの開発に向けた支援も行ってまいります。

さて、今年は「申年」です。申年生まれである元経団連会長の土光敏夫氏は生前、「考えるより当たれ。体当たりによって生きたアイデアが生まれる。」という名言を残しています。私たちも組合・企業の経営において机の上で考えるよりも「行動」することで新しい時代を切り拓いていきたいと考えております。

今後も、環境の変化や皆様のニーズを的確に捉え、本会が培ってきたノウハウとコーディネート力を如何なく発揮することにより、皆様から信頼される中央会として質の高い支援やサービスを提供してまいります。

皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

秋田県知事

佐竹 敬久



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、創立60周年を迎えられ、記念事業を通じて、皆様のこれまでの歩みや実績を振り返り、中小企業組合の中核的支援機関としての重要性が改めて認識されるとともに、県、商工会連合会と共同で開催した「秋田まるごと市in東京ソラマチ」では、大勢のお客様で賑わい、皆様のご尽力により、県産品の知名度向上や販路拡大につながりました。

また、産業分野では、再生可能エネルギー関連産業の拠点化に向けた洋上風力発電や大規模地熱発電の取組、航空機産業を担う人材育成の始動、自動車産業や情報関連産業等、今後成長が見込まれる分野の企業誘致など、県内企業がチャレンジしやすい環境整備が大きく前進した一年でありました。

さて、本県では、昨年10月に「あきた未来総合戦略」を策定したところでありますが、人口減少や少子高齢化、それに伴う経済規模の縮小など、本県における長年の構造的な課題を克服するためには、地域の持続的発展に必要な施策を見極め、地道に、息長く取り組んでいくことが重要であり、こうした観点から、秋田の創生のため、今こそ腰を据えてじっくり取り組むべき攻めの施策を多数盛り込んでおります。

真の地方創生を実現するためには、住民自らが地域の活性化に向けた企画・提案を行い、地域の創生に積極的に参画するという意識改革が必要であり、県では、そうした県民や県内企業の取組について、拙速にその成果を判断することなく、戦略的かつ継続的に支援することとしており、「中小企業振興条例」の理念に則し、商工団体と連携した相談機能の強化や円滑な事業承継に向けた取組等を促進してまいります。

加えて、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づき、県民の皆様が潤いと真の豊かさを実感できる「高質な田舎」を目指し、全力で取り組んでまいります。

中小企業団体中央会におかれましては、会員組合及び組合員企業が有する力を最大限に発揮できるよう、競争力強化に向けた支援に、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって希望に満ちあふれた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 大村 功 作



明けましておめでとうございます。平成28年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に会長に就任後、初めて迎える新年であります。新会長として半年間を振り返りますと、消費増税後の内需低迷の長期化に加え、中国経済の停滞による外需の減退により、多くの中小・小規模事業者は、昨年も景気回復の実感が得られない厳しい年でした。また、消費税の複数税率制度の導入やTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の大筋合意など、中小・小規模事業者を取り巻く事業環境は、急速な変革を迎えることとなりました。

政府は、新たに「新・三本の矢」を掲げるとともに、サービス業の生産性向上に向けた数値目標を設定するなど、「地方創生」「一億総活躍社会」の実現に向けて様々な政策の推進を図っています。

こうした中、昨年11月20日に沖縄県宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催した第67回中小企業団体全国大会では、中小・小規模事業者が連携・組織化を一層推し進め、IT投資や省力化投資を促進し、生産性の向上の担い手と地方創生の牽引役となること等の宣言をいたしました。

明けて平成28年こそは、全国の中小・小規模事業者が「稼ぐ力が付いた」と実感できる年になることを強く期待しています。そのためには、生産性の向上によって利潤の獲得と内需・消費拡大を進め、地域資源や農商工連携の促進、TPPの活用を踏まえた海外展開や観光関連産業間の連携強化など攻めの経営力強化と人材の育成・確保について、組合をはじめ中小・小規模事業者が「群」となって積極的に取り組んでいく必要があります。

まもなく、東日本大震災発生から5年となりますが、被災県の復興はまだ道半ばという状況です。復興の加速化に向け中央会の持つ組織・人的ネットワークをフルに活用して、最大限の支援の継続を行って参ります。

本会は、今年創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた全国中央会の運営に携われることを誇りに、「団結は力、見せよう組合の底力」の具現化に向けて邁進して参ります。

本年が、中小・小規模事業者が持ち前のバイタリティを大いに発揮し、良き1年となりますことをご祈念申し上げまして、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成28年元旦

年頭所感

株式会社 商工組合中央金庫

秋田支店長 片山 雅史



明けましておめでとうございます。平成28年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年のわが国経済を振り返りますと、海外経済の減速が国内に波及し、景気回復は緩慢なものとなりました。具体的には、日本銀行による金融緩和の継続や、雇用環境の改善が成長を下支えしましたが、新興国経済の不透明感から輸出の伸び悩みや国内生産活動の停滞につながりました。また、一部の業種では円安に伴う仕入価格の高止まりや、労働需給の逼迫による人件費負担の増加などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

当金庫の「中小企業月次景況観測」による中小企業の景況感も、景況判断指数は好転・悪化の境目となる50手前での動きが続き、持ち直しに停滞感がみられました。

このような環境のもと、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、地域金融機関と協調しながら、地域経済への波及力が高い中核企業や戦略的な海外展開を行う中小企業に、リスクマネーを供給してまいりました。

本年も、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地域の各機関と幅広く連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。



本会創立60周年記念・第67回中小企業団体全国大会 優良組合表彰受賞の組合理事長に聞きました ～今後の抱負と今年の個人目標～

鹿角衛生協業組合(理事長 豊口 裕氏) ～中小企業庁長官表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和46年、市町村から汚物取扱業の許可を受けた清掃業者により設備の近代化や経営の合理化等を図るため組合を設立しました。平成25年には、全国環境整備事業協同組合連合会の全国大会が初めて本県で開催され、秋田県をはじめ各行政機関からもご出席頂き、当業界の活動や存在意義を認識して頂く絶好の機会となりました。その後も継続して県内事業者と行政が合同で研修会を開催するなど、行政との連携を深め、事業への理解と情報の共有を図っています。

◆組合理事長としての今後の抱負

本県では、下水道事業、一般廃棄物事業が年々縮小される傾向にあります。「秋田県生活排水処理事業連絡協議会」が発足され、新たな取り組みについて協議が進められてきました。これまで、各処理とその管理省庁が分離していましたが、し尿・浄化槽汚泥の処理、農業集落排水の処理を公共下水道・幹線へ一本化することを推進していく予定であり、県内第1号として米代川流域地域の鹿角市、大館市、能代市が同時に取り組んでいくこととしています。

◆今年の個人目標

「人生80年時代」と言われますが、20歳までの20年は親に育て守られた時期です。今ちょうど50歳で、残り60年のうち社会人として30年が経ち、折り返し地点を迎えました。これまで大病を患うことなく過ごしてきましたが、何事も体が資本のため一層健康に留意し、まずは人間ドックを受けようと思っています。そして、次の30年について備えたいです。



【豊口裕理事長】

秋田県板金工業組合(理事長 加藤 美喜夫氏) ～東北経済産業局長表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

当組合は、前身の秋田県板金工業会を継承する形で昭和44年に設立しました。昭和40年代といえば高度経済成長を遂げた時代であり、組合設立以来、一貫して板金の技能水準と技能者の社会的評価を向上させるための取り組みを行ってきました。最近、県や市町村のリフォーム支援事業が追い風となり、リフォーム関連の受注が増加しています。

◆組合理事長としての今後の抱負

板金だけでなく、建築に関する様々な知識が必要な時代となっているため、従来の1級・2級技能士のほか、熟練した技能に加え施工管理や品質管理、原価管理、安全管理のマネジメント能力を有する技能者である「登録建築板金基幹技能者」の育成にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

◆今年の個人目標

私は、いわゆる団塊世代の人間で4代目として自社を経営していますが、今年も現場主義を貫いていくとともに、健康に留意し様々な活動に取り組みたいと考えています。また、小学校低学年から「剣道」に打ち込み(錬士6段)、淳城剣道スポーツ少年団の団長も務めてきましたが、今年度より能代山本剣道連盟の会長を拝命したこともあり、剣道の選手や若手指導者の育成にも力を入れていきます。



【加藤美喜夫理事長】

秋田県トラック運送事業協同組合(理事長 齊藤 正敏氏) ～秋田県知事表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

当組合の理事長を拝命して18年、組合員の皆様のご協力のもと、何事も「何とかかなさ!」と自分に言い聞かせ、組合運営に携わってきました。いろいろありましたが、辛かった記憶は忘れ、良い思い出ばかりが浮かんできます。一昨年は、組合創立50周年を迎え、森本元防衛大臣をお招きして約150名出席の下、記念講演会を開催するなど、私自身にとっても非常に忘れられない1日となりました。

◆組合理事長としての今後の抱負

トラック業界を取り巻く環境は決して順風満帆とは言えませんが、地域経済の発展のためにより効果的な輸送サービスを提供していくため、今後も組合員同士の「和」と対話を大切にし、組合を盛り立てていきたいと思っています。

◆今年の個人目標

毎朝、「今日一日は平穏無事に過ごそう」と自分に言い聞かせ、一日の終わりには「今日も様々なことあったが、病気もせず争うこともなく一日を過ごすことができた。」と感謝します。なかなか自分の思うようにはいきませんが、今年も「平穏無事」で過ごせる1年にしていきたいです。



【齊藤正敏理事長】



秋田電気工事協同組合(理事長 布谷 博氏) ~秋田県知事表彰~

◆これまでの組合活動を振り返って

当組合は、昭和49年に秋田県電気工事工業組合の秋田支部に加盟する電気工事業者により、資材の共同購買等を目的に設立されました。平成24年には、秋田市の公募型プロポーザル入札で「秋田市町内防犯灯LED化事業(ESCO事業)」の事業者を選定され、市内約28,500灯の交換作業を完了し、10年間の維持管理業務を行っています。これが事業協同組合による全国初のケースとなり、平成27年3月には経済産業省より「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に認定されました。

◆組合理事長としての今後の抱負

高齢化や住宅着工の低迷による受注の減少など、電気工事店を取り巻く経営環境は一層厳しくなることが予想されますが、ESCO事業による街路灯の維持管理をはじめ、当組合の信用や実績を積み重ね、官公需適格組合として共同受注事業に積極的に取り組むことで、組合員の経営基盤の強化に繋がっていきたくと考えています。

◆今年の個人目標

組合活動や自社の経営管理のほか社会的な活動も多く、多忙を極めていますが、健康でなければ何事も為し得ません。このため、忙しい中でも時間を作りジムに通い、ゴルフや釣りなど趣味の時間も確保しながら、精神と肉体のバランスを保つように心がけています。今年も「健康第一」を目標に、何事にも精力的に取り組んでいきます。



〔布谷博理事長〕

協同組合矢留青果(理事長 相場 金二氏) ~全国中小企業団体中央会会長表彰~

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和20年代の「朝倉市場」での相対商売をはじめ、昔は秋田駅前に市内外から行商人が集まり、お盆や年末は特に混雑し、年末の恒例行事であった家族での買出しの際は子供が迷子にならないよう手を繋ぎ買い物をしたものです。しかし、「効率・効食・利便性」を求める時代となり、当組合を取り巻く商環境は年々厳しい実状に立たされています。

◆組合理事長としての今後の抱負

組合員や当組合を利用する消費者の高齢化により、一時の賑わいを取り戻すことは容易ではありませんが、今まで以上に消費者の声に耳を傾け、今後も当組合の特色である旬の産物や消費者の関心を呼ぶ稀少な1次産品を提供していくため、理事長としての役割を果たしていきたいと考えています。

◆今年の個人目標

本業は農業ですが、稲作のほかここ数年は「日本一美味しいトマトづくり」に没頭しています。トマトのビニールハウスを歩くのが毎日の日課で、良い気分転換になっています。トマトは作り方により食味が全然違ってくるため、非常に面白く、今年も試行錯誤し楽しみながらトマトづくりを追求していきたいと思えます。



〔相場金二理事長〕

秋田県自動車電装品整備商工組合(理事長 桜庭 政光氏) ~全国中小企業団体中央会会長表彰~

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和47年、モータリゼーションの急速な進展に対応し、事業の高度化や業界全体の発達を図るため、前身の「秋田電装会」を法人化しました。当時は、電装の技術があれば顧客も収益も確保できた時代でしたが、現在はディーラーの整備部門の強化や異業種の参入等で競争が激化し、ユーザーのニーズも多様化しています。また、電子化をはじめとする技術進化に伴い、メーカーとの繋がりや情報収集が必要不可欠な時代となっています。

◆組合理事長としての今後の抱負

自動車技術は日々進出し続けています。これまで主流だったガソリン車は、電装部品の点検や修理を、技術の習得を積み重ねた技術者が職人技で仕上げていました。次世代自動車であるハイブリッド車や電気自動車等は、構造の変化に伴いソフトウェアが搭載され、作業にはパソコンを使用します。今後は、さらなる技術力の向上を図り、多様な部品やIT技術への対応に柔軟に取り組んでいきます。

◆今年の個人目標

私の工場は、運輸局より電気装置整備作業を行う特殊整備工場として「優良自動車整備事業者」に認定されています。県内でも数少ない認定工場です。今後も人材育成や整備技術の向上を図り、一層のコンプライアンス強化に努めていきます。また、休日には園芸や庭木の手入れを楽しんでいきたいと思っています。



〔桜庭政光理事長〕

秋田県素材生産事業協同組合連合会(会長 兼子 富市 氏)

～全国中小企業団体中央会会長表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

当連合会は、昭和48年、県内4つの素材生産事業協同組合により設立されました。会員組合に所属する素材生産事業者に対し、林業機械の近代化支援や原木受注の斡旋を通じて経営の安定化を図るとともに、県内の合板事業者に対する原木の安定供給に努めてきました。

◆連合会会長としての今後の抱負

今後本県では、合板・製材用の原木や木質バイオマス発電用のチップ材等、木材需要の増加が見込まれることから、原木のさらなる安定供給や流通価格の安定を図るため、流通業者等と連携した新しい組織の立ち上げを目指しています。

◆今年の個人目標

素材生産事業に非常にやりがいを感じており、組合活動や自社の目標が個人目標でもあります。今年には業界の連携を強化し、取引先工場や山林所有者とともに、素材生産事業の発展を通して本県産業の活性化を目指します。

一生懸命働き、たまには趣味のゴルフを楽しみながら、良い一年にしたいと思います。



[兼子富市会長]

秋田市中小企業従業員共同宿舎協同組合(理事長 佐野 元彦 氏)

～全国中小企業団体中央会会長表彰～

◆これまでの組合活動を振り返って

昭和40年代は、高度経済成長に伴う採用難の時期であり、福利厚生面の充実が求人・採用に有利に働きました。当時は、秋田市内で働く従業員の多くが市外の出身者であったため、その方たちの生活環境の整備を目的に、昭和41年に組合を設立し、女子専用の共同宿舎を建設しました。その後、ライフスタイルの変化に対応し、ワンルームタイプや当時としては先進的な機械警備システムを導入し、最近では性別を問わず入居可能な宿舎にしました。

◆組合理事長としての今後の抱負

私の会社を含め、従業員が抱える課題として「子育てと仕事の両立」が挙げられます。民間の保育施設がフル稼働している状況において、今後は当宿舎の空き部屋を集約し、建物の1スペースに組合員企業の従業員が気兼ねなく利用できる保育園等の託児施設の運営に向け、研究していきたいと考えています。

◆今年の個人目標

還暦を迎え、これまで信頼出来る友人が沢山できました。今年、ライフワークとして秋田を盛り立てる活動を行っている若い人を引っ張り上げていきたいと考えています。干支が一回りし、人生のラストパートに向け、新たに生まれ変わった気持ちでこの1年を過ごしていきたいと思っています。



[佐野元彦理事長]

～周年事業の開催を予定している組合の皆様へ～

今後、周年事業(〇〇周年記念式典等)を開催し、組合功労者等の表彰を予定されている組合におかれましては、組合からのご推薦(通算7年以上の役員経歴を有することが表彰基準となります。)により、本会会長表彰での対応を致します。

詳しくは、本会総務課(☎018-863-8701)までお問い合わせ下さい。



12月9日(水)、秋田市の「秋田キャッスルホテル」において、佐竹秋田県知事と本会役員との懇談会を開催しました。本懇談会は、本会理事会において取りまとめた各業界からの要望や意見交換を目的としており、佐竹敬久知事を囲んで、本会からは藤澤正義会長をはじめ副会長以下7名が出席しました。

開会にあたり藤澤会長は、『秋田県中小企業振興条例』に続き、『あきた未来総合戦略』が策定され、秋田の創生に向けた県の施策が始まっている。本会でも中小企業組合と傘下企業の活動支援を通じ、本県経済の活性化に向けて全力で取り組んでいく。」と挨拶し、これに対し佐竹知事は、「10月末に『あきた未来総合戦略』を国に提出し、「産業振興による仕事づくり」等の4テーマについて今後5年間重点的に取り組むこととしている。中央会においても、総合戦略の柱となる産業・中小企業の振興に向けリードして行って頂きたい。」と挨拶されました。



[要望する藤澤会長]



[懇談会の様子]

藤澤会長からは、以下の3項目(①インフラ整備②新エネルギー等の推進③団体補助金の確保・強化)について要望を行いました。

これに対して、佐竹知事からは「①インフラ整備では、日沿道や中央道はほぼ目処がつき、次の目玉は大曲鷹巣道路と考えている。秋田港の港湾計画は、石炭火力発電所建設の影響が少なからずあり、全国的に課題になっている二酸化炭素の排出問題への対応を進めている。秋田港へのアクセス道路も全面立体交差の活用等を検討している。②火力発電所を新設した場合には基幹送電網の整備が不可欠となるが、発電量が安定している火力発電と不安定な風力発電が送電網に相乗りできる形になれば安定した電力となり、秋田としての優位性が認められる。」など現状の課題も含めて率直な回答を頂きました。



[回答する佐竹知事]

また、今後、協働要望の1つとして、「フル規格の奥羽新幹線を実現させたい。新幹線整備促進法により、すでに福島から秋田までの奥羽新幹線は閣議決定で計画路線になっており、秋田まで整備新幹線を通すことで次の世代に財産を残したいと思っている。」と述べられました。

－藤澤会長からの要望事項－

1 インフラ整備について

(1) 県内高速道路ネットワークの早期完成と「大曲鷹巣道路」等地域高規格道路の早期事業化について

官民一体となった要望活動により日本海沿岸東北自動車道や東北中央自動車道のミッシングリンク区間についても事業化が進んでおりますが、その早期完成と「大曲鷹巣道路」等の県内高規格幹線道路網についても、観光を含め交流人口を増加させるために早期事業化を図って頂きたい。

(2) 貿易拡大のための秋田港及びアクセス道路の一体整備について

秋田港が環日本海地域の国際物流拠点として貿易を拡大していくために、引き続き受入基盤の拡大のために港湾施設と秋田北インターチェンジから秋田港へのアクセス道路を一体に整備推進して頂きたい。

2 本県の立地環境を活かした新エネルギー等の推進について

「新エネルギー立県秋田」の創造に向け、洋上風力発電についても協議会が設置されるなど、本県の立地環境を活かした取り組みが進められている。太陽光、風力、地熱等の再生可能エネルギーに加えて、水素やシェールオイル、メタンハイドレート等の新エネルギーも含めて本県の経済活性化に繋がる取り組みをさらに推進して頂きたい。

3 商工団体組織活動強化費補助金の確保・強化について

商工団体組織活動強化費補助金等の事業予算について、秋田県中小企業振興条例に基づきトータルサポート的な事業を実施して中小企業・小規模事業者の活性化を図るため、平成28年度も引き続き、確保・強化して頂きたい。

引き続き、各理事より以下の要望が出され、佐竹知事からは前向きな回答を頂きました。フリートークで『運転免許センター』の質問が出されると、「優良」運転免許の更新は中心市街地で更新できるよう現在、検討中であることのほか、県と市の合同の文化施設についても利用者本位で計画を策定していることなどが説明され、懇談では活発な意見交換が行われ、大変有意義な懇談のうち、終了しました。

－本会理事からの要望事項－

1 「中小企業振興条例」に基づく産業支援について

(1) 高度化資金制度の連帯保証人について

県内の卸団地が設立されてから40数年が経過し、団地内の建物の老朽化が進み今後の立て替えが想定される。高度化資金制度は、低利で返済期間も長く税制上の特例もあるなど中小企業に欠くことの出来ない制度であるが、組合員が利用する際、理事全員の連帯保証人が必要となるなど使い勝手の悪い面があり、より利用しやすい形になるよう検討して頂きたい。

(2) 商店街に対する支援策について

商店街に対するハード面・ソフト面での助成支援は、国の施策(例：地域商業自立促進事業等)があり、商店街の自己負担に加えて、イベント等への補助として市が数割程度支援を行っている。しかし、県内の商店街においては市の補助を受けても自己負担の捻出に苦慮する商店街も多いことから、国の助成支援を補完できる支援策について市町村と連携して強化して頂きたい。

また、少子高齢化社会や人口減少問題対策として様々なイベントが開催されているが、商店街を会場とするイベントに対して支援拡充して頂きたい。

(3) 県内食品産業のアジア向けの輸出促進について

県の積極的なご支援のもと、県産清酒は北米を中心に輸出量が増加しているが、今後の有望な輸出先として、シンガポールを中心としたアジア市場が注目されている。

国においてもシンガポールに「ジャパン・クレイティブ・センター」を開設し、本県も副知事が訪問する等関係を強化しているところではあるが、山梨県や石川県が実施したように、食・農・観を一体でPRできる現地でのイベント開催を実現して頂きたい。

2 「官公需」について

(1) 公共工事における発注時期の平準化及び適正価格による発注等について

県が発注する工事等に関しては、ゼロ県債の活用等による端境期の解消や最新の単価を用いた予定価格の積算等ご配慮頂いており、今後も引き続き効果的な推進をお願いしたい。

一方、市町村が発注する工事等においては、発注時期の平準化や適正価格による発注がなされていない状況であり、県による働きかけをお願いしたい。併せて建設業の担い手確保を目的とした改正建設三法の趣旨等について周知・啓発をして頂きたい。

(2) 官公需適格組合の活用と市町村への周知について

地元中小企業・小規模事業者の経営基盤を強化し、本県経済の活性化を更に促進するため、官公需適格組合の積極的な活用をして頂きたい。また、市町村に対し、地元中小企業・小規模事業者の受注機会の増大のための措置を講じることを定めている「国等の契約の基本方針」の周知をより一層図って頂きたい。

(3) 県道に設置されている道路街路灯のLED化について

道路街路灯のLED化については、照度が明るく防犯効果が高いことに加えて、電気代や維持管理費等のコスト削減効果が長期的に見込めることから、県道に設置されている道路街路灯のLED化を推進して頂きたい。

3 県産農産物の活用に向けた農産物生産者との連携の促進について

県が推奨する県産農産物を活用した事業では、農産物の安定供給に加え、粉やペーストなど1次加工品も生産されており、それらを用いた食品を製造することで、さらに県産農産物の需要拡大が図られる。

一方で、製造する食品によって加工適性が異なるため、一定規格の1次加工品のみでは製品化が難しい場合や、製品化の段階で1次生産者に在庫が無く、所要量の入庫が困難な場合がある。

素材の加工適性や供給の確保等の課題を解決するためには、供給側の農産物生産者と需要側食品製造業者の連携が不可欠であることから、県産農産物の活用事業には、是非、実施当初から参画させて頂きたい。

4 高速道路の割引料金制度の見直しについて

高速道路は、地域の発展や活性化に重要な役割を果たし、輸送時間の短縮や定時配送の確保等運送業をはじめとする全ての中小企業者・小企業事業者にとって必要不可欠でコスト削減効果も大きく、誘致企業の促進にもつながることから、長距離ほど割引率が増加する累進割引制度の新設や深夜料金等の割引拡充等について引き続き国及びネクスコに要望して頂きたい。

5 リフォーム事業者団体登録制度の創設について

国の「住宅リフォーム事業者団体登録制度」は、県内事業者の実態になじまないことから、地元事業者への受注増加や地域経済の活性化を図るため、秋田県版住宅リフォーム事業者登録制度の早期創設を図って頂きたい。

6 産業人材の育成及び確保について

県内経済の活性化のためには、人材の育成及び確保が重要な要因の一つであるが、企業の努力だけでは、達成出来ていない現状があることから、「あきた未来総合戦略」において打ち出された、秋田の産業を支える若者の育成及び確保に積極的に取り組む事業については、早期に具体化、実施をして頂きたい。

景況レポート

(11月分・情報連絡員80名)

需要の低迷により景況感が悪化

【概況(全体)】

前年同月との比較による11月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが16.3% (前回調査20.0%)、「悪化」が30.0% (同27.5%) で、業界全体のDI値は-13.7となり、前月調査と比較して6.2ポイント下回った。

なお、製造業全体のDI値は3.1、非製造業全体のDI値は-25.0となり、ともに前月を下回っており、景況感は改善の兆しがあった前月から一転して、悪化に転じた。

また、全国や北海道・東北ブロックと比較すると、本県の製造業のDI値は、前月に引き続き大幅に上回っており好調を維持している。一方、非製造業は、需要の低迷等により景況感が下方に転じた業界が多く見られ、依然として低迷している。

【業種別の状況】

前月との比較では、食料品をはじめ印刷や卸売業、商店街、建設業、運輸業で景況感が下方に転じた。

情報連絡員からの報告では、繊維製品やトラック輸送をはじめ、天候や季節的な要因が受注や売上に影響した業界が散見された。

なお、前月に引き続き、繊維製品や鉄鋼・金属、トラック運輸などが好調に推移したが、食料品や建設業では、一部好調な業種を除き、需要の低迷により悪化割合が強まった。

また、依然として公共工事の発注や住宅着工が低迷しているほか、自動車をはじめ消費税増税による需要の低迷が長引いている業界もあり、加えて人材確保が深刻な課題となっていることから、今後の先行きについては引き続き予断を許さない状況にある。

＜全国の景況DIとの比較＞

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-13.7	-22.4	-20.1
製造業	3.1	-21.4	-16.3
非製造業	-25.0	-23.2	-22.3

＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業						
非製造業						

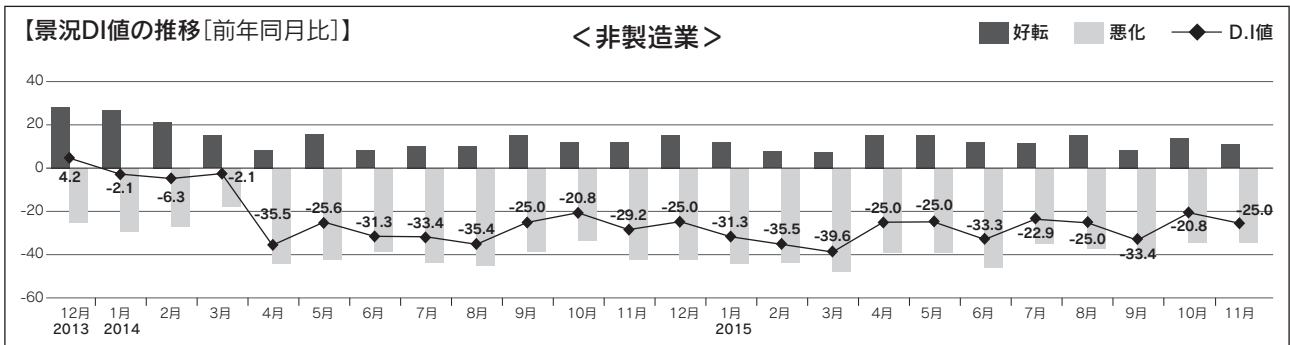
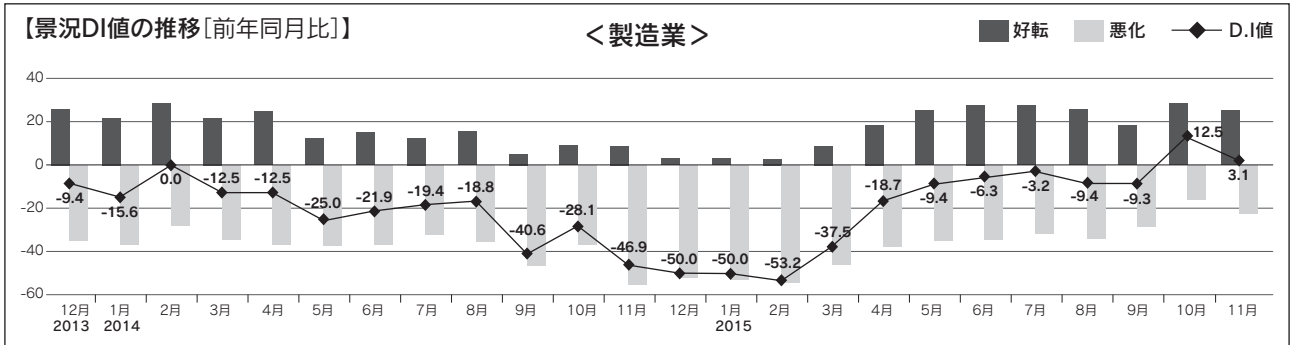
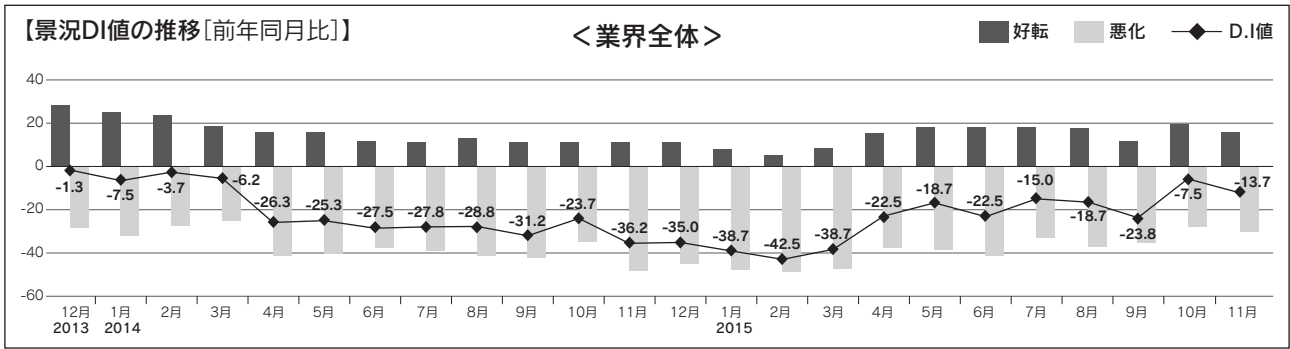
【凡例】
 快晴 30以上
 晴れ 10以上 30未満
 曇り Δ10以上 Δ30未満
 雨 Δ30以上 Δ10未満
 雷雨 Δ30以下
 [天気図の見方] 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (豆腐油揚)	季節柄、豆腐の需要は増加傾向にあるが、県外大手業者が次々と新製品を投入してきたこと等により、当組合の売上は前年同月を下回った。
食料品 (精穀・製粉)	需要の停滞により生産量が減少していることに加え、依然として原材料の高騰等生産コストが増加しており、厳しい状況が続いている。
繊維工業 (繊維製品)	受注量や単価が上昇し、日本製の需要増加が感じられるが、納期が前倒傾向となっており、発注時期の重複等による受注機会の喪失や経費の増加が懸念される。また、暖冬の影響で店頭での売上が伸び悩んでいることも懸念材料である。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	荷動きは多少活発になってきたが、まだ採算ベースには乗っていない。(中央地区)
印刷	マイナンバーの管理体制整備のための経費負担や、諸材料の値上がりに伴う価格転嫁が困難なこと等により、今後の収益の悪化が懸念される。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	11月の出荷数量は前年同月比78.5%、4月～11月の累計では前年比84.9%と非常に厳しい状況にある。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	各社とも当面の仕事を確保できているが、受注残についてはバラツキがある。
一般機器 (金属加工)	原材料は安値傾向となっているが、売上は前年同月を下回っており、収益面は厳しい状況にある。特に、部品加工については依然として短納期で利幅の小さいものが多い状況となっている。
その他の製造業 (曲げわっぱ)	最近では多方面から取材や注文が入り繁忙となっているため、多少だが景気の回復を感じる。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (再生資源)	鉄の買取価格の低下が続き、鉄をはじめ非鉄金属や銅、アルミも底値となる等、景況は前年同月比で悪化している。
卸売業 (古紙)	古紙の買取価格に変動はなかったが、全体の回収量は前年同月比11.3%の減少となっており、依然として雑誌の落ち込みが目立った。
小売業 (共同店舗)	11月は売上、客数、客単価とも前年同月を割り込んだ。特に、鮮魚や一般食品で売上の落ち込みが大きかった一方、総菜は前年同月比プラスで推移した。(能代市)
小売業 (みやげ品)	11月の土日は天候に恵まれなかったため、一般の来館者数が大きく落ち込み、売上は前年同月比85%にとどまった。(仙北市)
商店街	降雪が遅れたため、衣料品を中心に季節商品の動きが鈍くなっている。また、暖冬予想もあることから、12月以降の販促について対策が必要である。(大館市)
サービス (旅行)	国内旅行の売上は、前年同月比100%と横這いで推移したが、海外旅行については、パリのテロ事件の影響により86.7%と落ち込んでおり、年末年始の海外旅行者の減少が危惧される。
建設業 (管工事)	今年度は、市の発注工事が多く、年度末までの工事を確保できている企業が多いが、一部で人手不足の状況が続いている。(県北地区)
建設業 (電気工事)	公共工事、民間工事ともに低調に推移しており、新築住宅工事等も減少傾向にある。一方で、後継者育成や人材不足が深刻な課題となっている。(県南地区)
運輸業 (トラック)	11月は、売上、収益とも前年並みで推移した。これから年末に向けて輸送需要が増加する見込みであり、燃料価格の安値安定が望まれる。(県南地区)
その他の非製造業 (砂利採取)	降雪を控え例年繁忙となる時期だが、生コン用の骨材、路盤材用の骨材ともに荷動きは前年よりも鈍い状況となっている。(県南地区)

新年のご挨拶を申し上げます

地域密着!! がんばる秋田の企業を応援します!

おかげさまで創立40周年



秋田県火災共済協同組合

理事長 村岡 淑郎

〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47

県商工会館

TEL.018-864-3320 FAX.018-864-3335

コーディネート秋田協同組合

理事長 佐賀 善美

〒010-0975 秋田市八橋字下八橋191-29

TEL.018-862-0022 FAX.018-862-5288

ものづくりのご相談なら

秋田市工業団地協同組合

理事長 伊藤 和宏

副理事長 藤澤 正義

専務理事 深川 雅通

理事 志渡 輝夫

〃 柿崎 昭雄

〃 菊地 直也

事務局長 須田 清子

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-44

TEL.018-823-3917/FAX.018-862-9948

電気のある暮らし安全・安心を守ります。

秋田県電気工事工業組合

理事長 千葉 三四郎

秋田電気安全サービス

【本部】秋田市泉南1丁目1番18号

TEL.018-824-1587

【本荘支所】由利本荘市石脇字田尻野35-75

TEL.0184-22-8555

【能代支所】能代市字西大瀬23-20

TEL.0185-52-5202

笑顔いちばん おいしさいっぱい



秋田市民市場

akitashiminichiba.com

秋田駅から徒歩5分

秋田の食の玄関口

理事長

進藤 政弘

秋田県再生資源商工組合

代表理事 小野寺 盛

事務局 〒011-0901 秋田市寺内字イサノ134番地1

TEL 018-864-4691 FAX 018-823-5023

秋田県電機商業組合

理事長 小松 久雄

外役員一同

秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内5F

TEL・FAX 018-823-1635



フライアッシュ混合コンクリート(JIS規格品)
フライアッシュコンクリートについては
環境ラベルを表示できます

官公需適格組合

能代山本生コンクリート協同組合

〒016-0115 秋田県能代市字恵戸 115-9

TEL (0185)58-3560/FAX (0185)58-3525

秋北生コンクリート株式会社 秋田県能代市字下恵戸83-2 TEL(0185)58-2503

中友商事株式会社 秋田県能代市河戸川字下西山41 TEL(0185)54-2241

能代中央生コン株式会社 秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字上釜谷1-13 TEL(0185)76-3388

資源有限 | <技術力無限

組合員加入受付中



秋田県電気管理技術者協同組合

秋電(協)

理事長 山上 憲人

〒010-0946 秋田市川尻総社町10番8号

TEL 018(863)1833

FAX 018(823)6944

e-mail/akiden01@poplar.ocn.ne.jp

新年のご挨拶を申し上げます

秋田中央遊技業協同組合

理事長 新井 弘 泰

秋田市手形字西谷地175の2(遊技会館)

☎・FAX 018(832)9825

秋田県保険鍼灸マッサージ協同組合

理事長 佐藤 テル

〒018-1725 秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目1-2-13

電話・FAX 018(852)2773

E-mail: akihokyo@k5.dion.ne.jp

URL: http://www.h6.dion.ne.jp/~ akihokyo

秋田県自動車整備商工組合

理事長 三 浦 潔

副理事長 三 浦 廣 巳

〃 沼 倉 正 八

〃 畠 山 信 悦

〃 齋 藤 幸 悦

専務理事 佐々木 義 弘

常務理事 田 中 寿

〒010-0962 秋田市八橋大畑二丁目12番63号

TEL 018-823-6546 FAX 018-863-4603

秋田県室内装飾事業協同組合

理事長 野 口 久 栄

副理事長 中 村 純 也

副理事長 森 健 一

専務理事 小 松 豊 一

事務局長 大 工 原 清

〒010-0001 秋田市中通六丁目4番29号

電話 018-831-1276 FAX 018-838-1167

協同組合秋田県旅行業協会

代表理事 佐藤 明 正

〒010-0962 秋田市八橋大畑二丁目12番53号(秋田県自動車会館4F)

TEL.018-862-3190 FAX.018-862-3230

一般社団法人 秋田県機械金属工業会

会長 藤 澤 正 義

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番1号

TEL.018-862-5113 FAX.018-866-1741

E-mail: mmia@bic-akita.or.jp

秋田県骨材工業組合

理事長 三 浦 尚

副理事長 大 滝 善 美

副理事長 岡 部 秋 男

副理事長 小 林 正 信

専務理事 石 井 有 良

〒010-0941 秋田市川尻町字中島212番地の1

☎018-862-8535 FAX 018-863-4564

車のことなら県内50社子熊のマークのお店でどうぞ



JU 秋田 秋田県中古自動車販売商工組合 秋田市御所野 湯本一丁目1-1
理事長 藤原寛市 TEL 018(839)6311

謹賀新年

Made in Japan / Made in Akita

秋田県アパレル産業振興協議会

会長 佐々木 繁 治

秋田県秋田市旭北錦町1番47号(秋田県中小企業団体中央会内)

TEL:018-863-8701 FAX:018-865-1009

秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会

会長 佐 賀 善 美

幹事 村 田 孝 治

〃 高 寺 一

〃 岩井川 功

〃 鈴木 健 志

〃 安 保 誠

監事 村 上 晃 一

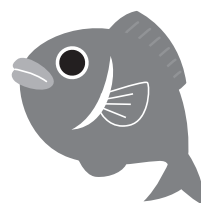
事務局 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号

(秋田県中小企業団体中央会内)

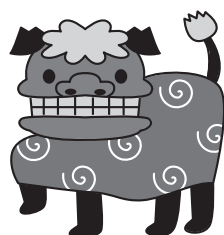
TEL.018-863-8701/FAX.018-865-1009

新年のご挨拶を申し上げます

創意工夫して、新たな時代へ



千代田興業株式会社



代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場: 秋田市川尻町字大川反170-49 TEL 018(864)6200(代)
建設事業部: 秋田市川尻町字大川反170-19 TEL 018(888)3666

URL: <http://www.k-chiyoda.jp>

御菓子調進所



オリジナルせんべい 創作和菓子 調進いたします

本店 秋田市中通5丁目7-8 TEL.018-833-8401 FAX.833-8411
秋田ステーションビルトピコ店 TEL.018-889-3583
<http://www.wagashi-otoriyose.jp>

《繊維製品加工販売業》



秋田ファイブワン工業株式会社

代表取締役社長 佐賀 善美

〒010-0975 秋田市八橋字下八橋191-29
TEL 018-862-5141/FAX 018-862-5288
URL <http://www.a-fiveone.co.jp/>

WADOスノーブレード

フル電動でとっても静か
簡単操作でらくらく除雪

除雪幅	バッテリー電動 リチウム イオン電池	連続運転時間
85cm		60分

e-SB80
¥267,840
(本体価格248,000円)



WADO小型除雪機

小さいながらも
ディーゼルで高性能の頼れる1台

除雪幅	最大出力	除雪能力
92cm	9.3ps	60t/h

SX1902
¥1,058,400
(本体価格980,000円)



まごころと技術でこたえる

K株式会社 秋田クボタ
本社/秋田市寺内字神屋敷295-38 ☎018-845-2121

損害保険・生命保険



保険と暮らしの相談センター
株式会社 **アキハ保険**

本社/〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目5-9
TEL 018-864-6921 FAX 018-864-6922
URL <http://www.akitahoken.co.jp>
フレホ本荘店/〒015-0011 秋田県由利本荘市石脇字田頭141-1
TEL 0184-24-5511 FAX 0184-24-5512

新年のご挨拶を申し上げます

Traffic
Rental×Lease

よりスピーディーに、より丁寧に、
多様化するニーズに全力でお応えします。

営業拠点 / 秋田・岩手・宮城・山形・福島・群馬・埼玉・千葉

「必要な車」は、賢く「借りる」時代です。

株式会社 トラフィックレンタリース

[本社] 〒010-0816 秋田県秋田市泉字登木234番地 TEL.018-865-0266 / FAX.018-865-0267

謹賀新年

株式会社 八幡平貨物

秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12
TEL 0186-34-2011
FAX 0186-34-2013

林業全般・製材加工・一般土木・不動産

森林と地球環境の未来を築く

株式会社 門脇本材

山にある資源を有効活用し、
地域社会に貢献できるよう努めてまいります。

代表取締役 門脇 桂孝

本社 | 〒014-1113 秋田県仙北市田沢湖卒田字柴倉135
電話 0187-44-2942 Fax 0187-44-3287
協和工場 | 〒019-2521 秋田県大仙市協和福沢字台林15-2
電話 018-893-4651 Fax 018-893-4652

URL <http://kadowaki-mokuzai.com>

- 公園施設、都市環境施設、鋼構造物、道路・河川用情報盤、各種競技場用照明鉄塔及び照明ポール（タイヨウポール）、照明施設、小型自然エネルギー発電施設（風車・太陽電池等）の設計、開発、製造、施工（据付）及びアフターサービス業務
- 情報盤（道路情報用・河川情報用など）の製造
- 環境対応型高機能性塗装システム『エココストコート』

環境に優しくコスト削減を可能にする



環境対応型高機能性塗装システム
ECoat
「エココストコート」

鉛フリー・クロムフリー 有害な重金属を一切含みません

景観テクノロジー

テック大洋工業株式会社



本社 〒144-0062 東京都大田区蒲田4-22-8 TEL.03(5703)1441 FAX.03(5703)1444
静岡事業所 〒411-0824 静岡県三島市長伏178-1 三島工業団地 TEL.055(977)1336 FAX.055(977)2320
秋田事業所 〒018-5751 秋田県大館市二井田字前田野94-15 二井田工業団地 TEL.0186(42)6318 FAX.0186(42)6318
東北営業所 〒981-1104 宮城県仙台市太白区中田5-3-21 TEL.022(306)3021 FAX.022(306)3022
E-mail tech@ttkk.co.jp URL <http://www.ttkk.co.jp>

新年のご挨拶を申し上げます

『信用保証』で
秋田県の中小企業を応援します



会長 小林 憲一

本所 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号
(秋田県商工会館内)
TEL018(863)9011 FAX018(863)9188

地域共栄



取締役頭取 湊屋 隆夫

秋田市山王三丁目2番1号
TEL018-863-1212(代表)

新しいこと、つぎつぎと。



取締役頭取 斉藤 永吉

本店/秋田市中通三丁目1番41号
電話/018-833-4211(大代)



TOKIO MARINE
NICHIDO



秋田支店長 西村 元伸

秋田支社 〒010-0001 秋田市中通2-5-21秋田東京海上日動ビル3F
TEL:018-832-9229 <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜は SOMPOホールディングスの一員です。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

秋田支店 法人支社

〒010-0921 秋田県秋田市大町 3-3-15
Tel.018(862)4463 <http://www.sjnk.co.jp>

MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社

秋田支店 〒010-0951 秋田市山王 2-1-43

・秋田支社 TEL:018-865-0561

・金融法人営業課 TEL:018-865-0336

・大館支社 TEL:0186-49-0392

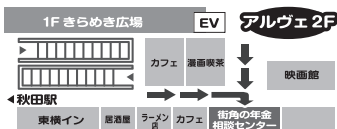
年金に関する
ご相談承ります!

ご予約もできます。
希望の前日までお電話ください

全国社会保険労務士会連合会運営

街角の年金相談センター

秋田(オフィス) 日本年金機構



国民年金・厚生年金に関する 手続き 相談

※電話での相談はお受けしていません

老齢・障害・遺族年金などの請求手続きもこちらでどうぞ



受付時間 月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15

休日 土・日・祝日・年末年始

街角の年金相談センター秋田オフィス

TEL018-893-6491

<http://www.akita-sr.or.jp/>

秋田県社会保険労務士会

検索

アルヴェ駐車場ご利用の相談者には
駐車券(1時間分)を差し上げます

新年のご挨拶を申し上げます

秋田活版印刷株式会社

代表取締役社長 畠山 紀夫

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1
TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505

ホテルメトロポリタン秋田

〒010-8530 秋田市中通7丁目2番1号
tel.018-831-2222 www.metro-akita.jp/

RICOH

リコージャパン株式会社

〒010-0061 秋田市卸町四丁目9-1
TEL 018-823-0111(代) FAX 018-888-1756

地鎮祭テントレンタル・名入れシート・内装工事
トラック荷台シート・幌・横断幕・オーニング



Suzukitent
www.suzukitent.co.jp AKITA.018-828-3450

いつもの朝に

秋田新報

購読申し込み 0120-13-1231



難物に挑戦
「造る時代」から
「創る未来」へ

秋田渥美工業株式会社

代表取締役会長 渥美 覺造 自動車エンジン部品、
代表取締役社長 川口夫美男 パワーステアリング部品の
切削加工及び自社ブランドの
ウォーターポンプ製造販売

〒013-0811 秋田県横手市安本字下御所野1-11

TEL:0182-33-1711 FAX:0182-33-2770

URL http://www.atsumi-kogyo.co.jp/

地元従業員100%!! 秋田県人の力で国内外の
自動車メーカーに部品を供給



株式会社ATテック

代表取締役 齋藤 賢治 自動車用樹脂
部品製造
〒013-0811 秋田県横手市安本字下御所野1-11 (ホールシート)
秋田渥美工業(株)工場内
TEL:0182-36-3255 FAX:0182-33-2770



人のそばに、夢のそばに。

山ニシシステムサービス株式会社

『人』と『コンピュータ』の調和をサポートします

代表取締役社長 西村 紀一郎
代表取締役専務 佐々木 攻

本社 秋田県秋田市仁井田新田二丁目16-13
青森営業所 青森県青森市古館一丁目12-10

小さなシールから
大判プリント、のぼり、Tシャツ、
マグネット、屋外看板全般お任せください。
防災のぼり対応できます!
1枚から量産まで短納期で安価!

☎0120-39-6277

株式会社 トラストシール

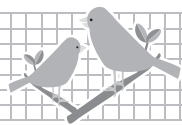
〒013-0325 横手市大雄字田根森東103-5
TEL:0182-52-3732 FAX:0182-52-3502

ETC高速割引制度事業をご利用下さい!

監	理	専務理事	副理事長	理事長
事	事	伊藤 邦夫	原 田 啓藏	藤 澤 正義
大 門 一 平	武 藤 真 人	進 藤 政 弘	伊 藤 和 宏	

秋田市旭北錦町一番四十七号
秋田県商工会館5F
(秋田県中小企業団体中央会内)
☎0118(八六三)八七〇五

秋田県商工振興
協同組合



中央会事業より

秋田県へ要望書を提出 ～秋田県官公需受注対策協議会との連名で計7項目を要望～

11月26日(木)、本会の伊藤邦夫専務理事並びに秋田県官公需受注対策協議会の加藤憲成会長、大門一平副会長が秋田県庁を訪れ、石黒互建設部長、天利和紀総務部長、金田早苗出納局長、佐々木定男産業労働部長に対しそれぞれ要望書を手渡し、以下の7項目の要望を行いました。



[要望の様子]

秋田県への要望は、本会の理事会や地区別組合代表者懇談会、官公需受注対策懇談会での討議を経て、本会と秋田県官公需受注対策協議会との連名による要望活動として行っているもので、毎年、秋田県からは要望に対し前向きな回答を頂いています。

要望にあたり、本会伊藤専務理事より要望内容の骨子を説明した上で、「官公需の地元発注については、秋田県には十分配慮頂いており感謝している。今後は市町村への働きかけを強化して頂きたく、特に協働政策会議の場を通じて首長に伝えてほしい。」と要望しました。

一方、秋田県からは、「中小企業振興条例が施行され、中小企業振興のための地元発注についても十分意識して行っている。『あきた未来総合戦略』も策定されたため、今後も官公需施策の一層の普及・浸透に務めていきたい。」等といった前向きな回答を頂きました。



[石黒建設部長へ要望]



[天利総務部長へ要望]



[金田出納局長へ要望]



[佐々木産業労働部長へ要望]

－秋田県への要望の概要－

- 1 高速道路ネットワークの早期完成並びに秋田港の整備促進について
- 2 地元中小企業・小規模事業者への優先発注と官公需適格組合の活用について
- 3 公共工事における発注時期の平準化及び適正価格による発注等について
- 4 運送業務に関する官公需の発注について
- 5 物品購入、印刷物等の最低制限価格制度の導入拡大について
- 6 リフォーム事業者団体登録制度の創設について
- 7 県道に設置されている道路街路灯のLED化について

「新ものづくり・新サービス展」を開催

～ものづくり中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援～

ものづくり補助金の秋田県地域事務局を務める本会では、11月27日(金)、秋田市の「秋田拠点センターアルヴェ」(秋田市)において、本事業の成果を展示・発表することで県内企業の事業化促進を目的とした「新ものづくり・新サービス展」を総勢24事業所の出展により開催し、延べ300人が来場しました。

開催にあたり、本会藤澤正義会長より「本事業を活用して開発した新製品やサービス、技術等が一堂に会し展示・発表を行うことにより、本県事業者における競争力の強化に繋がりたい。」と今後の事業展開に期待する旨の挨拶が行われ、続いて、株式会社IMI(大仙市)、株式会社アスター(横手市)、株式会社木彩屋(湯沢市)、株式会社三井光機製作所(秋田市)の4社より、本事業の活用による販路拡大等に関する成果発表が行われました。



[挨拶をする本会藤澤会長]

また、株式会社中野鉄工所代表取締役社長の中野隆次氏(大阪府)を講師に、『町工場の底力～ない知恵も使えば出てくる～』と題して基調講演が行われ、企業や支援機関等から約100名が聴講しました。

中野社長からは、自身の苦労話を交えながら、自転車部品を製造する町工場において自転車の販売台数が減少する中で付加価値の高い商品開発に取り組んだ結果、販売数量は減少しても売上を確保している事例が紹介される等、本県事業者の新たな事業展開に向け、参考となる基調講演となりました。



〔展示会場の様子〕

「首都圏駅ナカ テスト販売」を実施

～首都圏で「売る力」の向上を！県内13の食料品関連事業者が出店～



〔テスト販売の様子〕

本会では、12月4日(金)～13日(日)までの10日間、東京都「汐留シオサイト」において「首都圏駅ナカ テスト販売」を実施しました。

本県には、豊富な農林水産資源を活用した優れた商品が数多く存在しますが、人口減や高齢化、少子化等により市場が縮小傾向にあり、食品関連事業者が売上を維持・拡大していくためには首都圏等の市場開拓が必要となります。しかし、多くの事業者はその市場で勝ち抜く販売力や経験等が十分とは言い難い状況にあります。

そこで、首都圏の駅ナカ等で一坪ショップ事業を展開し豊富な販売実績を有する株式会社生産者直売のれん会(東京都)の全面的な協力により、自社商品の魅力を最大限にアピールし販売に繋がるノウハウの蓄積を図ることを目的に、汐留駅と新橋駅をつなぐ通路内で、通勤客を主なターゲットとしたテスト販売を実施し、県内各地から13事業者が出店しました。

なお、今後は、今回のテスト販売による売上結果やお客様の反応等に関する情報をレポートとして取りまとめた上で各事業者にフィードバックし、商品やPOPの改良など販売力の強化に結びつけていくこととしています。



〔販促用ポスターの一部〕



〔陳列商品の様子〕



新理事長紹介

役員改選により、下記の方が新しく理事長に選出されましたので、ご紹介します。

秋田県セメント卸協同組合 (秋田市)

理事長 田口 清光さん

組合員名：山二建設資材株式会社
 役職：代表取締役社長
 改選日：平成27年11月24日

— 会員組合の皆様へ —

本コーナーでは、会員組合の理事長交代について紹介しております。
 今後、新しい理事長が選出された場合は、本会企画広報課 (☎018-863-8701) までお知らせ下さい。
 併せて、組合活動の様子やイベント開催等の情報も多数お寄せ下さい。

新設組合紹介

協同組合大湯温泉観光協会

～観光交流人口の増加と地域の賑わい創出を目指す～



八重樫學理事長

【組合の紹介・PR】 これまで任意組織である大湯温泉観光協会として、地域イベントを中心とした観光振興のほか、鹿角市より委託を受け「大湯温泉総合振興プラザ」の維持管理を行ってきました。

そのような中、鹿角市が推進する大湯地区観光拠点施設の整備事業を受け、当協会が核となり、地域の関係団体や住民等と協力して当該観光拠点施設の指定管理者を受託することを目的に法人化することとし、温泉を活用した施設や農産物の加工・直売を行う施設、定期市日を催す商業施設など、農・商・工・観の連携による総合的振興拠点の整備に取り組み、地域の賑わい創出を図るため、前身の大湯温泉観光協会を発展させ、協同組合大湯温泉観光協会を設立しました。

【理事長から一言】

大湯温泉は、開湯800年を越えてなお豊富な温泉を有し、国立公園である十和田湖の観光拠点として、発展してきた歴史と文化が息づく温泉郷です。

近年は、鹿角市も人口減少や少子高齢化といった大きな課題を抱えている中で、観光をはじめとする交流人口の増加を図ることが、地域活性化に向けた重要な課題の一つと考えられています。

当組合も、関係団体や住民等と協力して地元の賑わい創出を図りたいと考えており、より一層、魅力ある大湯温泉郷を全国に発信していくため、組合員一丸となって地域を盛り立てていきたいと考えています。

- 所在地 鹿角市十和田大湯字中田23番地3
- 代表理事 八重樫 學
- 出資金 1,560,000円
- 組合員数 37名
- 主な事業 観光振興並びに地域活性化に関する計画策定・調査研究、観光関連施設の維持管理
- 成立年月日 平成27年11月11日





「こころで届ける、三井生命 安心さぽーと」。

BESTパートナー
三井生命

ずっとぴったり
こたえる保険
ベクトルX

3年ごと利差配当付利率変動型新積立保険

「ずっとぴったりベクトルX」は、収入保障保険特約2014を付加したベクトルXの呼称です。

万一の時の収入保障
一生涯の医療保障

詳しくは、「ベクトルX商品パンフレット」をご覧ください。ご検討にあたっては、「設計書(契約概要)」「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」「ご契約のしおり-約款」を必ずご覧ください。

C-26-1050 (H27.1)

【秋田県中央会共済制度のお問い合わせは】

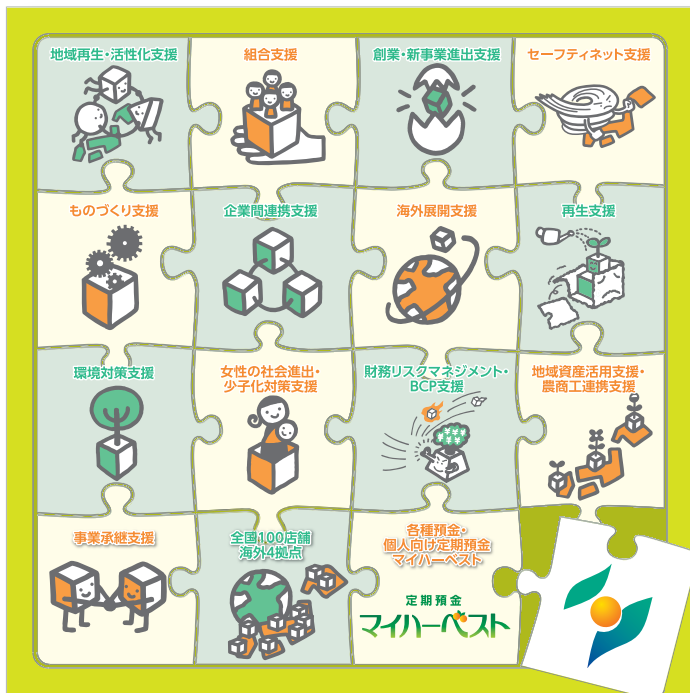
三井生命保険株式会社 秋田支社

〒010-0921 秋田県秋田市大町1-3-8
http://www.mitsui-seimei.co.jp/

秋田営業部 TEL:018-863-1626
本荘支所 TEL:0184-23-2950
能代支所 TEL:0185-52-5351

大館営業部 TEL:0186-49-2459
大曲営業部 TEL:0187-62-1337
湯沢支所 TEL:0183-72-3230

商工中金は、幅広いサービスで
中小企業と地域の未来を支えます。



商工中金は、国とともに、中小企業をサポートする公的金融機関です。お客さまとともに、地域活性化に全国で取り組んでいます。

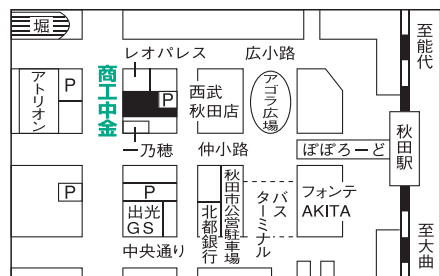
秋田支店 〒010-0001 秋田市中通 2-4-19 TEL 018-833-8531

通常定期預金より
1 高めの金利設定
※当金庫内比較

固定金利の半年複利で
2 効率よく資産運用

ライフスタイルに合わせて
3 選べる期間1年・2年・3年
※原則として満期日前の解約はできません。

個人のお客さま向けの
定期預金
マイハーベスト



● 西武秋田店西隣



人を思う。未来を思う。

商工中金

2016
1
Jan

中小企業あきた

平成28年1月1日発行(毎月1日発行)第668号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円